

船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第23号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年2月7日（土） 14時00分ごろ	
発生場所	大分県佐伯市蒲江西野浦芹埼の海岸 入津港浜村防波堤灯台から真方位141° 2.9海里付近 (概位 北緯32° 48.9′ 東経131° 59.2′)	
事故等調査の経過	平成21年2月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	瀬渡船 ^{えびす} 蛭子丸、3.2トン	
船舶番号、船舶所有者等	294-16805大分、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	船底部に破口	
事故等の経過	本船は、船長ほか1人が乗り組み、蒲江西野浦芹埼の海岸沖の磯場の釣り客を收容するため、磯場に接近し、釣り客2人を收容して離れたとき、釣り客がバッグを落としたので、船長が操舵室を離れ、バッグを揚収するために近づいたところ、平成21年2月7日14時00分ごろ、磯場に打ち寄せるうねりにより本船が持ち上げられて、浅瀬に乗り揚げた。 本船は、定置網漁船に救助され、漁港までえい航された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東北東、風力 1、視程 約5海里 海象：ときどきうねりの波があった、北の潮流、波高 ほとんどなし	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、磯場近くで、釣り客が落としたバッグを揚収するため接近したところ、磯場に押し寄せてきたうねりに気付かなかつたため、うねりにより、陸岸に寄せられて、磯場に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、蒲江西野浦芹埼の海岸沖の磯場付近において、船長が操舵室を離れ、釣り客が落としたバッグを拾い上げていた際、うねりに気付かなかつたため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	